

## H30年度 自己評価・外部評価 評価表

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				事業所コメント	外部評価 外部コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていない ことが多い	全くできていない		
<b>I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]</b>									
<b>(1) 理念の明確化</b>									
①	サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	9	2			「住み慣れた地域で自分らしく暮らせる」という独自の理念を明確化し、意識統一を図っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとり一人の『らしさ』を探求して、ケアプランに反映できると良い。</li> <li>・こぶし園の考え 自宅(地域)での生活できるようにしており喜ばれている。</li> <li>・立ち上げ時から意識を持ち理念を明確化していました。</li> <li>・明確化されている理念が介護・医療連携推進会議でも共有されている。</li> <li>・本人は家にいたい。できるだけ家にいたいという事を可能にしてくださっている。</li> </ul>
①	専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	4	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の理念を共通認識し、研修を通して定期随時の理解をより深めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例ひとつひとつを整理して積み重ねていってください。</li> <li>・定期随時の理解を深められていると思います。</li> <li>・理解してやっている。</li> <li>・研修を通して共通認識を図っている。</li> <li>・研修企画など、理解を深めるための努力をされている事が分かります。</li> <li>・多少違いはあるが、どの方も穏やかに接して下さっている。優しく、丁寧にしてくださっている。</li> </ul>
		3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している	5	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別研修計画を作成し、法人内・外の研修に参加することにより知識や技術向上に努めている。</li> <li>・オペレーターの判断能力は経験豊富なオペレーターによりロールプレイ等で対応力を習得できるように努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内研修がされていると思います。新しいスタッフが入られたら、その方へも対応伝達をお願いいたします。</li> <li>・研修が定期的に行われて、評価できる。</li> <li>・個別研修計画により目標が明確化されているので良いと思います。研修参加報告会などで知識の共有を図ると良いと思います。</li> <li>・新しい職員。服の着る順番等人によって違うので、統一できると良い。</li> </ul>

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	実施状況				事業所コメント	外部評価 外部コメント
				でき ている	ほ ぼ でき ている	でき てい ない	全 く でき て い ない		
				I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]					
(2) 適正な人材の育成									
①	専門技術の向上のための取り組み	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	5	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の能力の違いはあるが、職員人数が限られているので誰もがどの利用者にも行けるように、不足部分を研修や同行訪問を行い技術向上を図っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各職員の判断・理解力が平均化するように配慮しているのが、記録からうかがえます。</li> <li>・少ないスタッフの中で、どの利用者へも対応できるように努力されていると思います。</li> <li>・人材育成にも繋がり、結果良い方向と思います。</li> </ul>	
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	6	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師からの勉強会を開催し、援助における問題提起の情報交換、援助方法の助言等をもらい実践につなげた。またタブレット端末で情報を共有し状況を把握している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況変化に対してタブレットの記載方法や写真の活用で情報共有が出来ていた。</li> <li>・勉強会とタブレットを利用することで利用者について共通理解を図っている。</li> <li>・個別ケースに対しての訪問看護との情報交換はタブレットでも分かるが、さらに具体的に理解できると思います。今後も積極的に取り組んで下さい。</li> <li>・タブレット端末により、迅速に情報共有できる体制が整っていると思います。</li> </ul>	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	実施状況				事業所コメント	外部評価 外部コメント
				できて いる	る ほ ど で き て い い	こ と が 多 い い な い	全 く で き て い な い		
				事業所評価					
I 構造評価 (Structure) 【適切な事業運営】									
(2) 適正な人材の育成									
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている	7	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者・家族の状況や日々の変化にシフトを変更し柔軟に対応している。</li> <li>職員の人数の関係で、希望の時間に訪問出来ていない場合もあるが、希望に添えるよう話し合い納得したうえでやっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>柔軟に対応することは、時にスタッフ個々に負担がかかることだと思う。</li> <li>上役の方は、ストレスマネジメントに配慮してサポートして頂きたいと思います。</li> <li>入退院やショートステイの利用等で訪問状況に波がある中、対応に努められていると思います。</li> <li>利用者の暮らしを支える事で希望時間は対応したいと思いますが、現実、利用者が増すごとに難しくはなってくると思います。話し合いを行うこと、同意を得る事で利用者にもご理解いただけたと思います。</li> <li>柔軟にサービス対応が出来ていると思います。</li> <li>既往の時間に訪問できない場合であっても、利用者・家族との話し合いの上で訪問調整が出来ていると思います。</li> </ul>	
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている	6	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的で開催しているが要望や助言はそれほどなかった。発言できやすい雰囲気作りを目指し、得られた意見をサービスに反映させていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会議は、堅苦しい雰囲気があって発言しにくい。(指名されないと話せない感じ。)</li> <li>ざっくばらんに話が出来れば色々な情報や意見がもらえるとと思う。</li> <li>推進会議の開催がまだ回数を重ねていないので、要望や助言がまだあまり出来ていないのではないかな。</li> <li>会議の空間がやや落ち着かない感じがある。</li> <li>日越のコミセンを借りてみたらかうか。</li> <li>努力していると思う。先生の意見を参考にしていけば良いと思う。</li> <li>定期的で開催されている。会議での意見が実務でどのように反映されたか報告して欲しい。</li> <li>発言はしやすいのですが、定期巡回のケースがないと細かい意見が出てきません。あればこちらから意見を言わせて頂きます。</li> <li>改善部分はよくわからない。具体的な説明。</li> <li>ケース事例での検討であれば意見は発言しやすいと思います。参加時は出来るだけ意見を述べるようにしたいと思います。限られた時間の中での会議の進め方は大変苦労があると思います。まずは日々行っている活動を知って頂き理解して頂くのが第一優先ではないでしょうか？</li> <li>毎回、検討項目を挙げて意見を募る場面が設けられていると思います。地域の方が自由に発言できるような雰囲気になるとより良いと思います。(どのようになれば、というところが課題かもしれません。)</li> <li>時間が決められているのでやむを得ないということもありますが、会議の進行が少し急ぎ足のように感じることもたまにあるような気がします。</li> <li>先生の意見を参考にすると良いと思う。</li> <li>横文字難しいので、みんなにわかるような説明をしてもらいたい。</li> </ul>	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価					外部評価	
				実施状況					事業所コメント	外部コメント
				できている	ほぼできている	できていない	ほとんどできていない	全くできていない		
<b>I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]</b>										
<b>(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備</b>										
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	5	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末にて情報の共有し、状況の変化時には各事業所に迅速な報告をおこなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットに頼りすぎている面もあると思う。相手の事業所の動きにも配慮して連絡をして頂けたらと思う。</li> <li>・情報の共有をきちんとされていると思います。</li> <li>・タブレットを有効に利用しています。</li> <li>・円滑な情報共有のための手段として、タブレット端末が活用されていると思います。</li> </ul>		
<b>(5) 安全管理の徹底</b>										
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	2	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>・速度抑制装置車を1台設置し速度の抑制を意識づけた。</li> <li>・タイヤトラブル時の対処法を研修し習得した。</li> <li>・今後の課題として、猛暑日の熱中症対策・夜間の防犯対策を具体的に検討する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・速度抑制装置車を設置された意識の高さが伺えます。運転の速度抑制に引き続き努めて下さい。</li> <li>・腰痛等の労災予防にもご注意ください。</li> <li>・施設なので訓練されている。</li> <li>・日越コミセン合同防災訓練に参加したらどうか。</li> <li>・職員の皆さまの安全と健康がとても重要ですので今後の課題に取り組んでください。</li> <li>・交通違反に対する意識がどう変わったか、アンケートなどによる調査も有効かと思えます。防犯対策などは情報提供して頂けると参考になります。</li> <li>・喜多町事業所は独立した建物であり夜間も一人ですので職員の安全対策もしっかりと行って下さい。</li> <li>・自分の家は鍵を預かってもらっているのが良い。</li> <li>・防犯ブザー</li> <li>・車にトライブレコーダーがあると、一番良いのでは。</li> </ul>		
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	9	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットのロック・書庫のロックなど利用者に関わる書類の取り扱いのルールを決め周知されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月モニタリングの配布をいただいておりますが、Team(タブレット)やメールでの報告でいいです。配布時の紛失予防+時間の手間もあるので。</li> <li>・実際の状況を見ていないので評価は難しいが事業所評価より、スタッフの意識の高さが伺える。</li> <li>・周知されている方がほぼ全員なので理解されて・いると分かりました。</li> <li>・国全体で、「個人情報の正確性の確保」の作成・更新を行い徹底管理とした。事業所全体での理解が必要。</li> </ul>		

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				事業所コメント	外部評価	外部コメント
				実施状況						
				でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て い ない	全 く でき て い ない			
<b>II 過程評価(Process)</b>										
<b>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>										
<b>(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成</b>										
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	1	9	1		・連日の訪問の中で、本人・家族の要望を聞いたり、一日のリズムを確認することでアセスメントに反映させている。	・介護の観察が一番重要だと思っています。介護独自のアセスメントを聞かせて頂けるとケアマネの判断材料になります。 ・きちんと行えていると思います。	
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	1	9	1		・新規や状態変化があった時は必ずアセスメントを行っている。また健康管理や医療面について必要時は随時相談を行っている。	・状況変化を報告して頂き、情報の整理、計画の変更をしている。 ・看護のアセスメント訪問が1回/月ペースなので状態変化があった時にリアルタイムで状況把握が出来ていない事がある。情報の共有が出来ていても意識の共有が難しい時がある。 ・状態変化はなくともアセスメントは必ず行うと思います。状態変化時は報告、連絡、相談による早期退所が必要と思われます。 ・きちんと行えていると思います。	
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	3	7	1		・ケアプランに沿った計画作成をしているが、重度の方が多いため、機能の維持、在宅生活が継続できるような計画作成が主である。	・重度の方を多くみておられますので、この項目での評価は難しいと思います。「緩やかな低下」「本人の意志を尊重した終末期ケア」の項目があったら高評価だと思います。 ・日常が継続出来る事が一番大事ですが、介護視点の細やかな提案があるとケアプランに生かせるのでよろしくお願いします。 ・重度の方でも機能の維持は悪化させないという点で介護予防（≒未来志向？）であり、これが在宅生活の継続にもつながっているのだと思います。 ・平均介護度3.8とはかなり重度の方を対象としていると思います。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	実施状況				事業所コメント	外部評価 外部コメント
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない が多い	全く できて いない		
<b>II 過程評価(Process)</b>									
<b>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>									
<b>(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成</b>									
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		8	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療依存度については高めることは考えていないが多職種より助言受け必要であれば、医療介入を考えていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の病状を予測して、ケアの方向性を出していくために、看護師を活用して下さい。</li> <li>今後の変化を予測して適切なリスク管理の為には一時的に医療依存度を上げることでその後落ち着き、結果として重度化を防げる場合が多くあります。医療介入に繋げる事はマイナスとは限りません。</li> <li>介護職より積極的な提案を頂きたいので看護やケアマネに提案をよろしくお願いします。</li> <li>訪問看護の利用が52.9%と介護度のわりに利用者が少ないと感じる。</li> </ul>	
<b>(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し</b>									
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている		7	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者や介護者に状況変化に応じて、訪問を追加、時間変更し、必要な訪問サービスを提供し柔軟に対応している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>状況に応じて柔軟なサービス提供に対応が出来ていると思います。</li> </ul>	
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		7	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月モニタリングを実施し状況変化を把握している。新たな課題時には見直しを提案し計画に反映できるよう努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出来ていると思います。</li> <li>細やかに報告を頂いている。</li> </ul>	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	実施状況				事業所コメント	外部評価 外部コメント
				でき ている	ほ ぼ でき ている	でき てい ない	全 く でき て い ない		
<b>II 過程評価(Process)</b>									
<b>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>									
<b>(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供</b>									
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている	3	8			<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護の出来る事出来ない事を明確にし、看護より助言・指導を受けることにより、医療・介護の役割が出来ている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な介護ケアが出来る様、看護師の力を活用して運営されていると思います。</li> <li>・医療的処置か否かについて再考し、無理せず対応して頂けたらと思います。</li> <li>・同事業所に両職種がいられるため連携がとれていると思います。</li> </ul>
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	6	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月のアセスメントや状態変化時などは適切な指導・助言を受けている。看護を利用している方は迅速に指導が受けられているが利用されていない方に関して、助言を受ける事が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問看護を利用されていない方への助言は難しい面があります。必要性のある方に対してケアマネへのアプローチの再考が必要かもしれません。</li> <li>・看護と介護の連携・協働がしやすい環境である為互いの資源を十分に活用できると思います。アセスメントだけからでなく、NSから助言を頂けることはありがたいです。</li> </ul>
<b>(4) 利用者等との情報及び意識の共有</b>									
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	4	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス契約時に情報提供と説明を実施しているが利用して行くにあたり、趣旨が変わっていくことがあるので、その都度しっかりと説明する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約・サービス開始前の説明だけで、理解してもらうのは難しいと思う。</li> <li>・日々のケアの目的が「心身の機能維持」であることを職員一人一人が理解して均一したケアを実践していく事が大切だと思う。</li> <li>・訪問頻度が多いので変化時の説明もしやすいと思います。</li> <li>・ほぼ全員出来ているとの回答なので、今後も正しい理解に努めてください。</li> </ul>

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	実施状況				事業所コメント	外部コメント
				でき ている	ほ ぼ でき ている	でき てい ない	全 く でき て		
<b>II 過程評価(Process)</b>									
<b>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>									
<b>(4) 利用者等との情報及び意識の共有</b>									
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	3	7	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>計画書交付の際は目標と内容については説明している。</li> <li>介護者の役割のについても明確化し共通の認識が得られるように対応している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護者が介護者ではなく同居者の場合もあると思います。役割の明確化をこちらも共有したいと思います。</li> <li>努力されていると思います。</li> </ul>
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	6	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>状態変化時にはケアマネ含め、その都度変化あった場合は報告、相談を実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族に情報が伝わる様対応されている。</li> <li>行われていると思います。</li> <li>その都度共有が出来ていると思います。</li> </ul>
<b>2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント</b>									
<b>(1) 共同ケアマネジメントの実践</b>									
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	6	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>継続的なモニタリングの情報を共有するとともに、変化に応じて、サービス提供日時等の見直しを共同で行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>モニタリングをきちんと頂いている。(定期利用時の感想)</li> <li>行えていると思います。</li> </ul>
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている	2	7	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>状態変化時は必要に応じて必要なサービスはケアプランに入れてもらうよう提案している。</li> <li>インフォーマルな役割についても積極的提案できる機会があれば思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インフォーマルな役割についても積極的に提案できる機会があればと思います。</li> <li>いつも責任者さんの対応がしっかりされているので、安心できる。提案もいただける関係だと思っています。</li> </ul>



タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価					事業所コメント	外部コメント
				実施状況						
				でき て い る	ほ ぼ ど でき て い る	こ と が 多 い ない	い な い	全 く でき て い ない		
<b>II 過程評価(Process)</b>										
<b>2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント</b>										
<b>(1) 共同ケアマネジメントの実践</b>										
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	6	5				<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標の達成状況はモニタリング報告書にて毎月看護やケアマネに報告。</li> <li>・多職種については、担当者会議、カンファレンス等の機会にしか伝えられていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月モニタリングで確認させていただいています。とてもまとまっていて、読みやすく書かれています。</li> <li>・問題のある時は細かく対応できると思います。通常は安心してお任せしていますので報告書で理解しています。</li> <li>・問題のないケースは居宅、NSへの報告となりますが、何か変化があれば共有していければよいと思います。</li> </ul>
①	利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)	2	7	1	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフォーマル等の活用については担当者会議にて必要時に検討していることが多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なかなか難しいと思いますが、二年目に入り、これからだと思えます。</li> <li>・担当者会議で随時検討されている。</li> </ul>
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)	6	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設入所、退所、退院等のカンファレンスへ参加し必要な情報の共有や対応を実施しているが、入院した際の情報提供は、ほとんど出来ていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入院の際に、退院後の変化を予測して、自宅での課題+退院後の課題をまとめてケアマネさんへ伝える。</li> <li>・必要な状況なら退院前にカンファレンスを開いて頂く様、あらかじめお願いしておく情報が得られやすいと思います。</li> <li>・入院時の情報提供については今後のフェニックスネットにも期待しましょう。</li> <li>・病院から退院の連絡があればカンファレンスへ参加しているが、突然の退院が多い。病院との連携を図った方が良い。</li> <li>・入院等で一時的に住まいが変わっても、継続したケアが受けられるように関係機関と必要な情報共有と連携が図れるといいです。</li> <li>・今後はフェニックスネットから発信していけるとよいと思いますし、まとめて居宅からとか連携していけるとよいと思います。</li> <li>・定期巡回・随時対応サービスで把握していた情報について、ケアマネと連携・共有して必要な情報提供が行えれば良いと思います。</li> </ul>	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	実施状況				事業所コメント	外部コメント	
				できて いる	るほ ぼ できて い	こと が 多い ない	い ない で きて い ない			全 く で きて い ない
<b>II 過程評価(Process)</b>										
<b>2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント</b>										
<b>(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献</b>										
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)		7	1		・それぞれのサービスの役割を理解し、情報を共有しながら専門職が適時適切に関り多職種へ発信できる流れを構築した。	・まだ2年目なので、これからの更なる構築に期待します。	
<b>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画</b>										
<b>(1) 地域への積極的な情報発信及び提案</b>										
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	6	3	2		・誰でも見られるように事務所内にはファイリングはしているが閲覧できる機会がないので、今後は回覧なども利用し情報発信をしていけるよう検討必要。	・事業所内だと誰もが見られる場所ではないかもしれません。 ・まちのねの回覧の時に一緒に情報を伝えるといいのでは？ ・広報紙等を作成し、他事業所への情報発信されると良い。 ・情報発信は常にされていると思います。 ・一般の人には難しい。 ・回覧は有効と思います。	
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている	3	3	5		・大きな広報活動は行っていない。今後効果的な広報手段を考え、積極的な周知が必要である。	・協力したいと思います。 ・困っている方は効くが、必要にならないと聞かない(興味が無い)。 ・市の市政だより。福祉年会等活用したらどうか？ ・広報紙等を作成し、他事業所への情報発信されると良い。 ・年末に新体制が出来るので更に周知され、他事業所のケアマネが多く利用できる高齢者対策に非常に役立つと思います。 ・出来れば一方的な発信ではなく、まずは地域ニーズを把握する機会が持てると思います。 ・地域での学習会などの機会にPRする。HPに載せるなど。 ・テレビ新潟の取材もあり、大きな広報になったと思います。 ・事例を用いた、“訪問介護”と“定期巡回・随時対応型訪問介護看護”の違いも含めた周知が分かりやすいのかな、と思います。(こんなときは訪問介護、こんなときは定期随時、というような) ・何かの機会に出向いてビデオを見せる。 ・老人会の集まりの時に説明。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	実施状況				事業所コメント	外部コメント
				できて いる	る ほ ぼ で き て い る	こ と が 多 い い ない	全 く で き て い ない		
II 過程評価(Process)									
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画									
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		7	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアシステムが中核的な役割を担っているのは理解しているが、内容等については大まかにしか理解していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当事業所でもそうですが、行政の方向性の中で事業所が担う役割を整理して理解しなければと思います。外部の研修などに参加して情報を得ていきましょう。</li> <li>・なかなか見えない状況にて事業所のせいではないと思います。</li> <li>・第7期長岡市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を確認したり、必要に応じて、同システム構築に向けて事業所が地域(社会)から期待されている役割を理解していけると良いです。</li> <li>・事業所全体で理解するには課題になると思いますが、益々このサービスをしっかり理解することが大切だと思います。</li> <li>・地域包括ケアシステムの実現に向けて、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるために、また、中重度者や医療ニーズの高い方の在宅生活を継続して支えるサービスとして、定期巡回・随時対応サービスは重要な役割を果たすと考えます。当然、定期巡回の事業所単独で地域包括ケアの取組が完結するわけではないので、介護と医療のより一層の連携や、インフォーマル含めた他のサービスも含め、情報を共有しながら地域包括ケアシステムの構築に向けて進めていきたいと考えています。定期随時のサービスから見えてきたことをどんどん教えていただきたいと思います。</li> </ul>
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	6		5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定エリアや建物の限定せず広く地域に展開している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広範囲に頑張りすぎていると思います。実施状況は十分できています。逆にエリアをもう少し限定されることをお勧めします。</li> <li>・広く展開されていると感心しています。</li> <li>・事業所所在の日常生活圏域内で広くサービス提供を行っていると思います。</li> </ul>
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている <u>(※任意評価項目)</u>	1		3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域啓発活動には参加していたが、まちづくりについての問題認識を把握する機会が持てない為、具体的な問題提起・改善策の提案は行っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・”地域を作っていく役割”について勉強会等が増えています。</li> <li>・仕事をしながら考えていくのは難しいですが、頑張ってください。</li> <li>・まちづくりについての問題認識については、まだそこまで期待されていない状況なので、焦っても難しいと思います。おいおいで良いのではないのでしょうか。</li> <li>・PR.そういう時代になってくる。</li> <li>・福祉、介護個々で違うので、相談するところからの説明が必要。</li> <li>・町づくりは今後必要になってくると思います。おおいに力を発揮されて下さい。</li> <li>・既存の取り組み(会議・まちのね・食の第三者評価)を活用したり、新たに直接地域住民と意見交換できる機会(懇談会など)が持てると良いです。まずは町内会と顔の見える関係づくりを。</li> <li>・サポートセンター喜多町の一つの事業所として参加することで少しずつ関係づくりが出来ると思います。</li> <li>・週1回、順番で弁当配りを行っているが、毎日となるとやる人がいなくなると思う。</li> <li>・娘さんが近くに住んで朝ごはん提供してくれるところがあると。365日の支援。祭日、祝日もあるサービスが必要。</li> </ul>

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				事業所コメント	外部コメント
				実施状況					
				でき ている	ほ ぼ でき ている	でき てい ない	全 く でき て い ない		
<b>Ⅲ 結果評価 (Outcome)</b>									
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	6	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅生活の継続という観点ではどの利用者も目標の達成が出来る。今後は具体的な手法(アンケートなど)で実施し評価を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者満足度評価を実施して頂いて会議でも報告して下さい。</li> <li>施設入所で終了するケースが少ないと思います。評価に値すると思います。</li> <li>利用者の計画に対するモニタリングはされている。</li> <li>在宅で介護度の重い方が生活できる事は目標達成されていると思います。</li> </ul>
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	8	3			<ul style="list-style-type: none"> <li>24時間対応という点で、利用者や家族(別居・遠方住み)の十分な安心が得られている。</li> <li>定期的な訪問にて在宅生活の安心感が得られADL(日常生活動作)がアップしたケースが多かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>この様に評価できるのは素晴らしいですね。これからもお願いします。</li> <li>看護師の対応で足りない点があったら、遠慮なく教えてください。</li> <li>安心感がある事で体調も安定しやすいと思います。高齢者が対象なので状態変化による終了はいたしかたありません。ぎりぎりまで在宅生活を継続できるのは定期随時のおかげです。</li> <li>安心感を得られていると思う。</li> <li>遠方や同居の家族の安心につながっていると思います。</li> <li>要支援の方、買い物援助等使いたい時に使えると良い。</li> <li>継続して切れ目なく関わって頂けるおかげで、地域住民の健康が保持できる素晴らしいシステムだと思います。</li> <li>努力した結果を伝えていくことが今後のサービス拡大にもつながると思います。</li> <li>介護する側もヘルパーと世間話が出来るので、気分転換になる。</li> </ul>